

令和2年度 学校関係者評価

高知県立幡多看護専門学校

1. 日時：令和3年6月15日 10:00～11:00
2. 場所：幡多看護専門学校 校長室
3. 学校関係者評価委員
 - 1) 幡多けんみん病院 経営事業部長
 - 2) 幡多けんみん病院 看護部長
4. 高知県立幡多看護専門学校 出席者
 - 1) 副校長
 - 2) 事務長
 - 3) 教務主任
5. 評価対象：令和2年度 重点項目の取組状況
6. 資料：1) 学校関係者評価委員会実施要領 2) 自己評価書 3) その他関係資料
7. 評価基準：4段階評価及び総評
 - 4：大いに達成できている（大いに成果がみられる）
 - 3：達成できている（達成がみられる）
 - 2：あまり達成できていない（あまり成果がみられていない）
 - 1：全くできていない（全く成果がみられていない）
8. 評価結果

1 地域に貢献できる質の高い看護師の養成をめざす	自己評価	他者評価
①各学年の指導方針及び実施計画に基づき、個々の学生の状況に対応した指導、学習支援を行う。	3	4
②受験生全員が、看護師国家試験に合格する。	4	4
③実習受け入れ先である医療機関や施設と連携を深めるとともに、実習指導力を高め効果的な臨地実習を実施する。	3	4
④卒業生の県内定着率 80.0%を目指す。	3	2

自己 評価	<p>①新型コロナウイルス感染症対策のため、休校や臨地実習の延期措置により分散登校や学内実習等、授業・実習計画の変更が余儀なくされる中、全職員による3学年支援チーム体制を継続している。また、感染防止策を徹底するとともに、コロナ禍における個々の学生の健康管理等の状況を把握し、状況に対応した学習・生活支援を行っている。</p> <p>②1年次から定期的に模擬試験を実施するとともに、チューター制度を設けて成績が下位等の学生を個別に指導する等により、合格者28名/受験者28名=全員合格した。</p> <p>なお、昨年度不合格であった卒業生1名については、学内での学習を引き続き支援するとともに、精神的なサポートを行い合格した。</p> <p>③主たる実習施設である幡多けんみん病院と定期的（年9回）に実習連絡会議を実施し、連携を深めて効果的な臨地実習を行っている。また、学生に課題があれば、その都度病院スタッフと情報共有する体制をとり課題解決等に取り組んでいる。</p> <p>④1年次からクラス担当・教務主任による就職・進学面接の実施、県奨学金活用の推奨等での意識付けや県内の病院を紹介するなどの支援を行っている。</p> <p>しかしながら、愛媛県愛南町出身の学生が地元愛媛県内に就職（4名）する等もあり、県内就職者20名/卒業生28名=71.4%の結果であった。</p> <p>なお、元年度（66.7%）より4.7ポイント上昇している。</p>
総評	<p>国家試験合格率100%と言う高い目標を掲げ、ほぼ毎年達成している点は大いに評価できる。学校全体の指導方針・教育計画の素晴らしさ及び指導教員の熱意の表れと言っても過言ではないと考えられる。愛媛県出身の学生が4名おり、県内への就職率80%を達成できなかったことはやむを得ないとも考えられるが、この点は厳しく評価した。</p> <p>1点、課題を挙げるとすれば、近年の入学者数の定員割れである。定員を満たすためにいたずらに合格者数を増やしていないことは評価でき、仕方の無い面があると思う。今後は受験者数の増加を目標に、幡多地域に止まらず、もっと県内全域へのアピールに注力していただきたい。</p>

2 教員の教育力の向上を図る	自己評価	他者評価
①研究授業や日々の教務・実習ミーティングを計画的に実施し、教育内容・教育方法の精選及び教員自身のリフレクションを通し、教育力を高める。	3	4
②教員のキャリアに対応した研修を計画的に実施し、地域包括ケアを担う人材育成の観点やカリキュラム改正を視野に入れた研修を組み込み指導力を高める。	3	4

自己 評価	<p>①概ね毎週教務ミーティング及び実習ミーティングを実施した。特に実習中に行う実習ミーティングでは、今、起こっている事象に対して、何か問題か、どのように関わっていくか他の教員の視点や意見から対応策を導くことができている。研究授業に関しては、授業の見学を数回、数人の教員がしたのみで終わっている。研究授業ができるよう時間調整や形にとらわれない方法を提案するなど、実行しやすい環境を整えていく。</p> <p>②カリキュラムに関する研修は、教務主任が7月に日本看護学校協議会中四国ブロックで行われた研修へ参加した。また、カリキュラム編成に関するオンラインで行われた5回シリーズの講義を全員が聴講した。その上で、カリキュラムに関する資料を配布し各々が学習した。夏期に行われる看護教員継続研修に教員それぞれのキャリアに応じて参加した。</p> <p>以上のことからカリキュラムに関する理解を深めることができ、第5次カリキュラム編成に活かすことができている。今後は、授業方法や学生との関わり等教員としての能力の向上につながる研修を進めていく。</p>
総評	<p>前述のとおり学校全体及び教員個々の能力・熱意の高さが高い国家試験合格率として表れており、大いに誇って良いと考える。実際の教育の場面では、コロナ禍の中で、実習をはじめとして困難な場面が例年になく多いと思われるが、創意工夫の元、引き続き頑張っ て貫きたい。</p>

3 適正な学校経営・管理を実施する	自己評価	他者評価
①自己点検・自己評価により抽出された主要課題については改善計画に基づき実施していく。(自己点検・自己評価委員会)	3	4
②2022年のカリキュラム改正に向けて、新カリキュラムを作成する。(カリキュラム委員会)	3	4
③南海トラフ地震対策は急務であり、学生の安全・防災教育の実施並びに評価を行う。(学校防災委員会)	4	4

自己 評価	<p>①昨年度実施された第三者評価で抽出された主要課題について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育理念・目的については、第5次カリキュラムに向けて学生・保護者がイメージできる具体像を盛り込んだものに編成中である。 ・国際交流については、国際化や国際的視点を広げるために英会話や医療英語を学ぶ科目の他に、基礎看護学（目的・対象）の中で国際看護について教授している。2年度は講義以外に、国際交流のDVDの視聴や、外国人の看護を体験した卒業生の研究論文の紹介などを行った。第5次カリキュラムでは、特別教育活動で国際化を考慮した活動や、基礎看護学での国際交流の時間数増を検討している。 ・看護研究については、新型コロナウイルス感染症対応やカリキュラム編成業務に追われ取り組めていない。更には教員1名が欠員となったが、欠員に対しては急遽臨時教員を採用し対応した。また、遠隔授業が実施できるようにICT設備を整えたことから、今後情報検索システムの導入（統計ソフトの整備）に取り組んで行く。 <p>②第5次カリキュラム編成については、カリキュラム委員を中心に定期的に会議をもち、編成を行った。3年度7月には県の主幹課へ提出予定。</p> <p>③学生の防災教育については、1年生は特別教育活動に計画し実施した。</p> <p>1年・県防災マップでの基礎学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通学路避難マップ作成 ・高知防災そなえちよき隊による南海トラフ地震に備える講話 ・genkidayo システムによる安否確認訓練 <p>2, 3年生についてはコロナ渦の影響で、災害時メディカルラリー及び幡多けんみん病院を中心とした大規模災害訓練は中止となった。</p> <p>全学年：消火、避難訓練</p> <p>様々な防災教育により、学生の防災意識は高められたと評価できる。</p> <p>引き続き、学校防災マニュアルに添って、校内点検及び災害用品の整備を行うとともに、新入生防災グッズの購入及び起震車体験をはじめとする防災教育を計画し、実施していく。</p>
総評	<p>日進月歩するICT技術の発展に合わせ、デジタル化への対応など教育力の向上に向けた日々の努力が感じられる。マンネリ化せず、常に問題意識を持って改善しようとする姿勢を持ち続けて貰いたい。</p>